

放射線治療科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 腹部・骨盤部に対する X 線治療計画と陽子線治療計画の線量分布の比較検討研究

[研究機関] 北海道大学病院放射線治療科

[研究責任者] 木下 留美子 （放射線治療科・助教）

[研究の目的]

婦人科疾患に対する腹部・骨盤部への放射線治療では腸や骨髄といった正常組織に対する放射線照射によって、様々な副作用が起こることが知られています。ターゲットに対する照射線量を維持しつつ、正常組織への照射線量を低減することでより少ない副作用で治療を行う事が期待されます。

放射線治療技術の進歩によって正常組織の線量低減を可能とする放射線治療法が利用可能となりつつあります。

当院では 2014 年 3 月より陽子線治療が開始となりました。陽子線治療によって正常組織の低減が期待されますが、婦人科領域の腫瘍に対する陽子線治療の報告は少なく、有用であるかどうか検討が必要な状況です。

今回の研究の目的はこれまで当院で腹部・骨盤部に放射線治療を行った方の治療計画用 CT を用いて、X 線による放射線治療計画、陽子線による放射線治療計画を作成し、比較検討を行うことで、正常組織に対する放射線線量の違いの有無を明らかにし、婦人科領域の腫瘍に対する陽子線治療の有用性の検討を行うものです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

婦人科腫瘍に対し、平成 20 年 1 月 1 日から平成 26 年 5 月 8 日の間に腹部・骨盤部に放射線治療を施行した方

●利用するカルテ情報

- ①患者基本情報：年齢、現病歴、既往歴、合併症、内服薬、生活歴、家族歴、身長・体重
- ②診断名、病期分類、病理組織、初発時画像所見、採血結果

- ③放射線治療前の治療有無、内容
- ④治療中の評価
- ⑤放射線治療計画の比較・検討
- ⑥照射後経過

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院放射線治療科      担当医師 木下 留美子

電話 011-706-5977      FAX 011-706-7876